

平成24年度
第2回稲毛区公民館運営審議会議事録

- 1 日 時 平成25年3月21日(木) 午後2時～4時
- 2 場 所 小中台公民館(講堂)
- 3 出席者 (委員 14人)
- 地引 昌子委員長 青柳 典子副委員長
佐々木 美智子委員 周東 ひさ子委員 藤川 勇委員
森脇 清委員 太田 きぬ子委員 土屋 敏夫委員
城 久委員 種池 賀子委員 飛鳥井 航一委員
菊池 まり委員 碓 茂樹委員 安川 信一郎委員
- (事務局 10人)
- 金谷館長、薬師神副館長(小中台) 平野館長(黒砂) 倉原館長(轟)
反町館長(稲毛) 中川館長(千草台) 小川館長(草野) 鵜澤館長(山王)
大塚館長(都賀) 井澤館長(緑が丘)

4 会議次第

- (1) 開 会
- (2) 委員長あいさつ
- (3) 小中台公民館長あいさつ
- (4) 議 題
 - ①平成24年度公民館利用状況について
 - ②平成24年度公民館事業報告について
 - ③平成25年度公民館事業計画について
 - ④その他
- (5) 閉 会

5 議事の概要

- (1) 平成24年度公民館利用状況について
稲毛区各公民館の利用状況を事務局から説明した
- (2) 平成24年度公民館事業報告について
稲毛区各公民館の事業報告を事務局から説明した
- (3) 平成25年度公民館事業計画について
稲毛区各公民館の事業計画を事務局から説明した
- (4) その他

6 会議経過

- 事務局 それでは、これより、平成24年度第2回千葉市稲毛区公民館運営審議会を開会させていただきます。
- 本審議会は、千葉市情報公開条例第25条に基づき会議を公開し、傍聴を認めております。また、議事録については、公開することとなっておりますのでよろしくお願ひいたします。
- 事務局 それでは、次第に従いまして、進めさせていただきます。
- 初めに委員長より、ごあいさつをいただきたいと存じます。地引委員長よりしくお願ひいたします。
- 委員長 あいさつ
- 事務局 続きまして、小中台公民館金谷館長より、ごあいさつ申しあげます。
- 中核館長 あいさつ
- 事務局 それでは、このあとの議事について、委員長よりしくお願ひいたします。
- 委員長 本日、委員14人のうち14人のご出席がありますので、規定により、会議は成立しております。
- 次に、議事録署名人の選出ですが、私から指名させていただいてよろしいでしょうか。
- 委員 「異議なし」と呼ぶ者あり
- 委員長 それでは、菊池委員さん、飛鳥井委員さんのお二人にお願ひいたします。
- 委員長 それでは、「議題1 平成24年度公民館利用状況について」事務局より説明をお願いします。
- 事務局 「議題1 平成24年度公民館利用状況について」説明。
- 公民館の開館日数、利用人数、利用時間帯別人数及び内訳等。
- 公民館図書室の蔵書数、登録者数、貸出冊数、リクエスト件数等。
- 委員長 ただ今の事務局の説明について、何かご質問等はございますか。
- 委員長 5,600人利用者数が増えた、夜は4,000人増えた、これを伺いますだけでも公民館ということの値打ちというか、利用も多いし、大切な館であるし、ますますよりよい公民館として発展させていかなければならないなということを感じられます。
- 質問がないようでしたら、次に移ろうと思っておりますが、よろしいでしょうか。
- 委員長 では、議題2に移ります。
- 事務局 「議題2 平成24年度公民館事業報告について」説明。
- 公民館の事業実施状況等。
- 委員長 ただ今の説明を伺いまして、質問、意見などがございましたらお願いします。
- 委員 山王公民館ですが、企業が協力してくれているが、ある特定の企業を利用して何も問題はなかったか。
- 委員長 いい質問が出ましたのでお願いします。
- 事務局 今のところ、特に問題は出ておりません。
- 委員 企業の宣伝になるようなことになるんじゃないかという意見がなかったのかなと、伺いました。もうひとつ、一企業を決めてやるという事に対しては、その公民

館が良しとすればそれで良いのか。これから公民館全体が良しなった場合、いろいろ問題が出てくるのではないのかなと心配します。

委員長 この件につきまして、ご指導ご意見がありましたらお願いします。

事務局 公民館は社会教育施設ではありますが、営利目的でなければ民間の資本を活用し、住民の方々に還元していくひとつの方法であると思います。

委員 予算があれば、この様な事をしなくてもいろいろ幅広く考えられるでしょうが、我々も同様でつい企業に頼ってしまう。これがエスカレートしてしまっはという懸念もあり、質問させていただきました。

委員長 資料をみますと中学生など地域の方々を活用しているところもあり、地域と結び着く事もあると思います。地域の方々を活用した事例なども上げていただきたい。

委員 制約のある中ででしたが利用者団体連合会の中でボランティアという形で、様々な方にご協力いただき、計画、実行ができたと思います。これに係わる事でご意見等ございましたら、今後の運営に生かしていきたいと思います。

委員長 何もしないと何の疑問も抱かないまま過ごしてしましますが、皆さんの役柄の目で見たと時に、心配する事、又はアイデア等もあると思います。もう一方どなたかご意見ございませんか。

委員 はじめに事務局より説明を受けましたが、5,600人の利用者増という事で、各公民館の館長の話聞いていますと、相当な努力が伺える。公民館だけで何かをやらうとしているのではなく、学校・地域の関係団体など様々な所に声をかけ、アイデアを出し、今までいま一歩定員が集まらなかった所等に対して相当積極的に働きかけていらっしゃるという点が、この利用者の増加につながったのであろうと確認できました。ただ、折角良い講座であるのにまだ定員に満たないという点については原因を探求していただき、どうしたら地域の方々にとって魅力あるものになり、参加し易いのか、更なる努力・工夫をしていただきたい。

委員長 今ご意見がありました様に、以前に比べ講座の内容が広範囲に渡っている。要するに幼児・子ども・小学生・親子・高齢者等と内容が広がっているというのも各館の努力かと思われ。しかし今、意見がありました事も心配のひとつの懸念の材料でございますので、これを頭に入れながら次の計画に当たっていただきたい。

委員長 それでは次に移りたいと思います。

「議題3 平成25年度公民館事業計画について」事務局より説明をお願いします。

事務局 「議題3 平成25年度公民館事業計画について」説明。

公民館の事業計画等。

委員長 ただ今の事務局の説明について何か質問はございませんでしょうか。

委員 先程の24年度の事業報告との関連もあるのですが、23・24年と見させていただいて、中学生が対象者になってきた公民館が増えている。25年度は更に半数位の公民館で中学生が対象になっていると思います。非常に嬉しい事ですが、開催時期を考慮してほしいという願いが一点。もう一点は昨年度中学生を対象にして事業展開

していただいた所でどれ位中学生が応募したのか、わかる範囲で結構ですので教えていただきたい。

事務局 小中台公民館では育成委員会の皆様のご協力を得まして、新春凧揚げ大会を実施しております。会場も小中台中学校の校庭をお借りして実施。人数については60～70人程度だと思います。

委員長 中学生も部活動等もあり、忙しいがそれだけの人数が集まった事はたいへん喜ばしい。歴史も古く積み重なってきていますのでより良い事業だと思います。

事務局 山王公民館ですが、子ども絵手紙教室が小中学生対象で定員20名に対して受講者13名と少なく、中学生は2～3名でした。

委員長 中学生を対象にする場合、中学生の行事等の関係で季節があるという事ですので、学校と連絡をとっての実施をお願いします。中学生もこういう場所で経験を積む事で心も広がるのではないかと思うのでとても良い事だと思います。他に質問等ございますか。

委員 今お話があったように講座が広範囲になっていると私も思います。こういうのを企画される時、地域の課題とか今どんな事を企画したらいいかはどのように決めているのか。もう一点は学校5日制になった時に公民館の無料開放というのが話題になったかと思いますが、それは今どのように行われているのかを教えてください。

委員長 公民館順番をお願いします。

事務局 小中台では運営懇談会や利用者の意見に耳を傾けるようにしています。二点目の土曜開放については、土曜日午前中会議室を開放していますが、小学生が中心で中学生の利用は少ない。

事務局 黒砂では、主催事業の内容については運営懇談会あるいは館長参加で隔月で行われていますクラブ連協の会議にて次年度主催事業を載せた広報だよりをお配りしております。その時点でまた来年度、今皆さんが何の事業でどのような目的でどういう内容で実施したら良いのかという事を例会で伺っております。

土曜開放の件では、1階ロビーを個人利用として開放していますが土日通して小中学生の利用があります。その他小学生対象の主催事業で夢の箱というのが毎月1回、年間12回の実施をしています。また今回は黒砂の資料を保存する会の方々との連携をし、小学生対象事業として考えております。

また、クラブ等の講師を講師として事業を組み、会員の募集も含め若い層を増やしていきたいという事も方針の一つとして考えております。

事務局 轟では事業計画については運営懇談会の中でお話をし、その中で少年等に変更できるものについては変更している。できないものについては次年度義務化して取り上げています。毎年実施している事業については必ずアンケートに回答をいただき、希望するものがあれば参考にしています。うちで継続事業が多いのはそのアンケートの中で好評をいただいておりますので、継続事業が主になっております。また、この様な分野もという要望があったら、それも考えて計画を立てています。

土曜開放については、基本的にロビーはどなたでもという型で開放しておりますが、部屋については特に貸し出しはしていません。部屋を貸し出す場合は保護者の方や地域の方が同伴するというのが条件になります。

事務局

稲毛ですが、事業計画につきましては、ひとつは運営懇談会での意見をいただき、それを踏まえて内容を考える。もう一つは主事と相談し、実施した内容、例えば定員に満たなかったところにどのような原因があるのか話し合いをしたり、区内の他の公民館の事業を参考にして計画を立てています。

事務局

土曜開放については部屋貸しはしておりません。ただし普通授業のある日、稲毛小学校・稲丘小学校の二年生の生活科の授業でまち探検というのがありますが、定期的に公民館にきて、公民館の仕事・役割についての質問に対しては対応しています。千草台も行事終了後に、主事と話し合い反省の基にというのがひとつ、文化祭等での展示物への興味・関心、その他要望がありましたら、講師・サークル等と相談し実施するという方法もあります。また当公民館には図書館もありますので、そちらの利用者が募集のポスターを観られますとそれに伴い、要望等もでてきますので協議し実施する場合もあります。ただ内容が良くても参加者が集まらないという課題もあり、人気のあるものに関しては安定した参加者がいるので継続しています。土曜開放については特に実施していませんが、土曜・日曜・放課後等、小学生が集まってロビーを利用し、勉強やゲームをしています。また一部土曜・日曜の休みの日に特定の子が一人で来る場合がありますがこれに関しては小中学校とも連絡を取り合い見守る体制をとっています。

事務局

草野は次年度の計画につきましては、教育委員会より配布される冊子の中の他公民館の事業報告を参考に、実施した公民館に問い合わせ詳細を伺い、内容を検討後運営懇談会に諮り承認を得るという型で企画しています。

事務局

それから、先程お答えしませんでした、ある時期かたまって中学生の利用が10名程度あります。これはサークル活動ではなく成人者が講師となって小中学生にヒップホップダンスを教えているという様な経緯がございます。またその講師の方をお願いをし、主催事業として計画しました。土曜開放につきましては、ロビーもありますので時折子ども達が勉強したりゲームをしたりという姿を見かけます。

事務局

山王では次年度の計画については運営懇談会の意見を集約しています。それから講座毎に行っておりますアンケートの結果、応募者数等を踏まえて、次年度の実施を検討しています。また小中学生やサークル参加者の意見を伺い、希望の多いものを実施していくという状況です。

土曜開放については、特別の事は実施していません。

都賀では山王と同様、アンケートの結果を踏まえ、また講座の定員等ございますが、例えば料理教室ですと調理室のスペース等で20名を定員にしていますが24名を上限として実施しています。その様に希望が多いものについては、できるだけ残すように考えております。ただ時代の流れという大きいのですが、タイミングも考えまた限られた中で新しい物を取り入れたり、回数を増やしたりという事で考えてお

ります。

土曜開放については実施しておりません。週5日制の導入当初から比べると子どもの居場所作りの提供も必要がないのではないかと。

事務局

緑が丘としては、地域の課題の把握として三つ位かと考えます。ひとつは運営懇談会で話し合われる事、もうひとつは主催事業実施後のアンケートが大きなものになっていると思います。あとあえて言うのであれば地域のインフォーマルな会合に出るよう心がけております。運営懇談会の中では地域の文化の発信機・受信機を目指そうという事で、今年度文化祭の時に中学校の校長先生がご協力くださいまして、吹奏楽部全員の演奏を聴く事ができました。それを機に、中学生が図書室へも来るようにもなりました。演奏時には保護者の方も聴きにきてくれたので、かなり多くの子ども達を巻き込んだ文化祭になったのではないかと思います。土曜開放につきましては特別な事は実施していないが、その場を果たしているのは図書室ではないかと思います。子ども達が沢山、土曜・日曜を利用して本を借りにきています。他にクラブが設立されており、「おひさま」という読み聞かせのクラブが土曜日の午前中を利用して活動していますので、子ども達の居場所になっていると思います。

委員長

それぞれ皆さんは各館工夫をなさっているという事が伝わってまいりました。運営懇談会が生きているという事も嬉しく思いました。また地域の声を聞いて事業を組んでいるというのは各館長の努力が伝わってきました。

委員長

次の「議題4 その他について」ですが何かございますか。

事務局

事務局からは特にございません。

委員長

以上で、本日の議事を終了いたします。ご協力ありがとうございました。

事務局

以上をもちまして、「平成24年度第2回千葉市稲毛区公民館運営審議会」を終了させていただきます。お疲れ様でした。

(問合わせ先) 所管課：千葉市教育委員会生涯学習振興課

電話：小中台公民館251-6616